

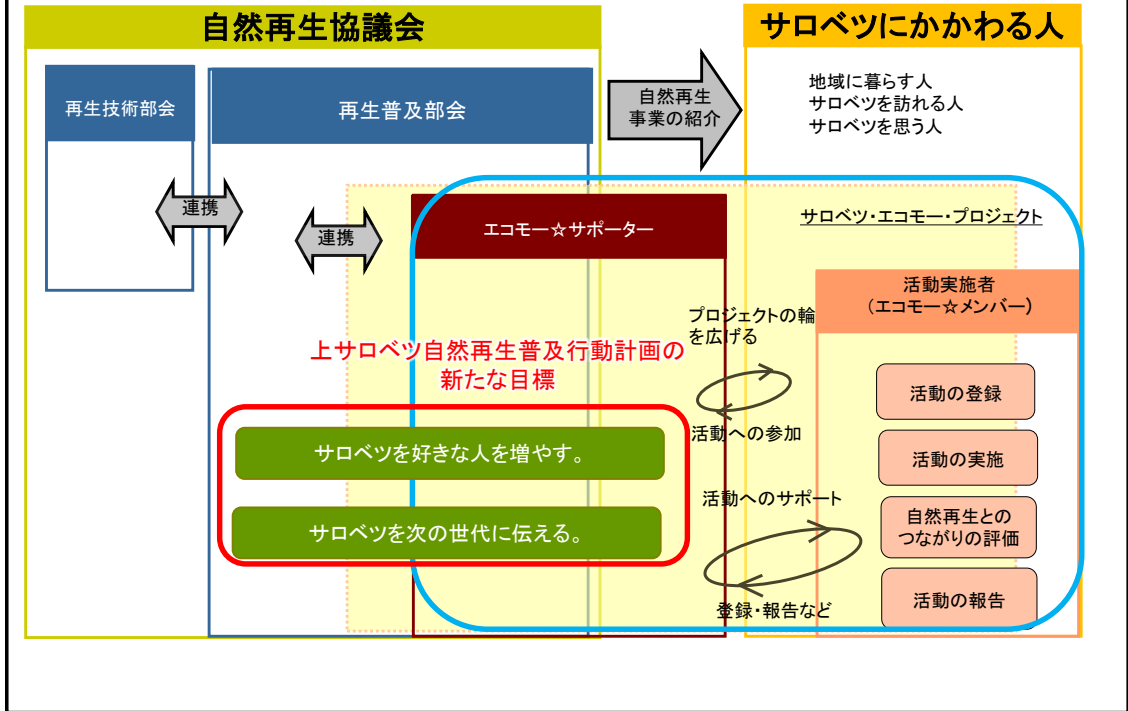
令和2年度 普及活動の結果



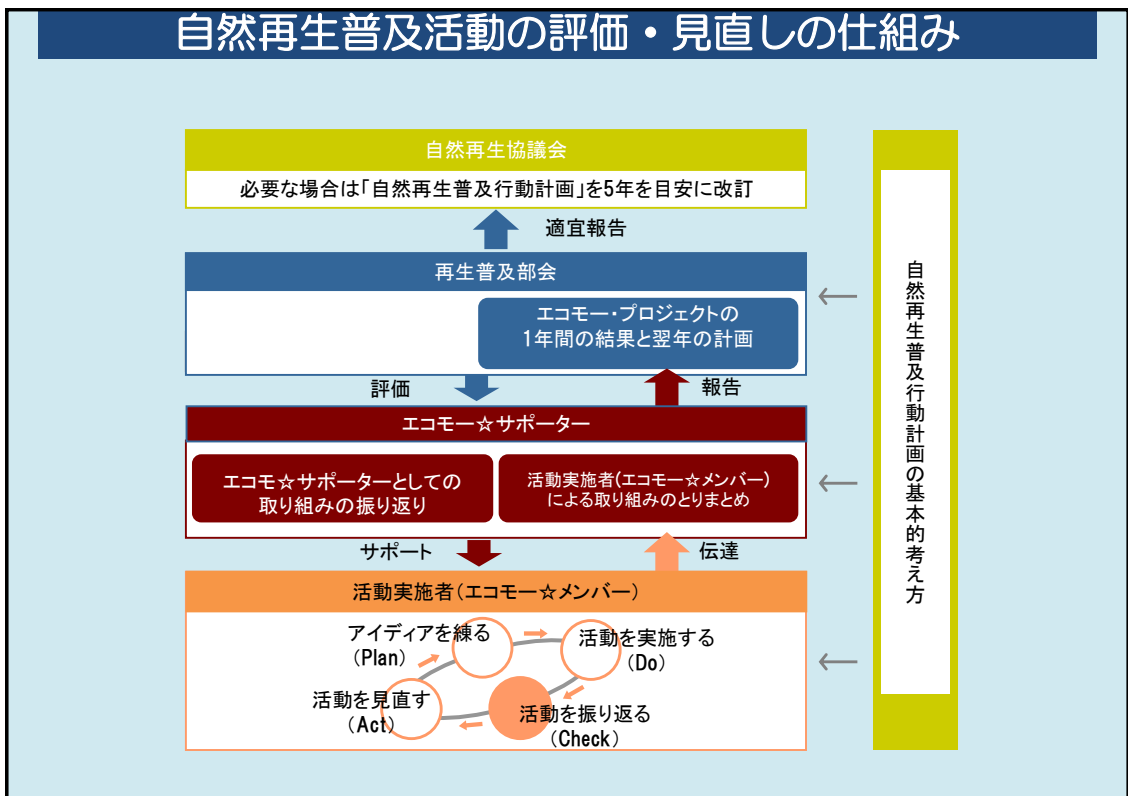
上サロベツ自然再生協議会 第21回再生普及部会
審議期間：令和3年2月18日（木）～3月1日（月）

(1) 自然再生普及活動の進め方

自然再生普及活動の進め方

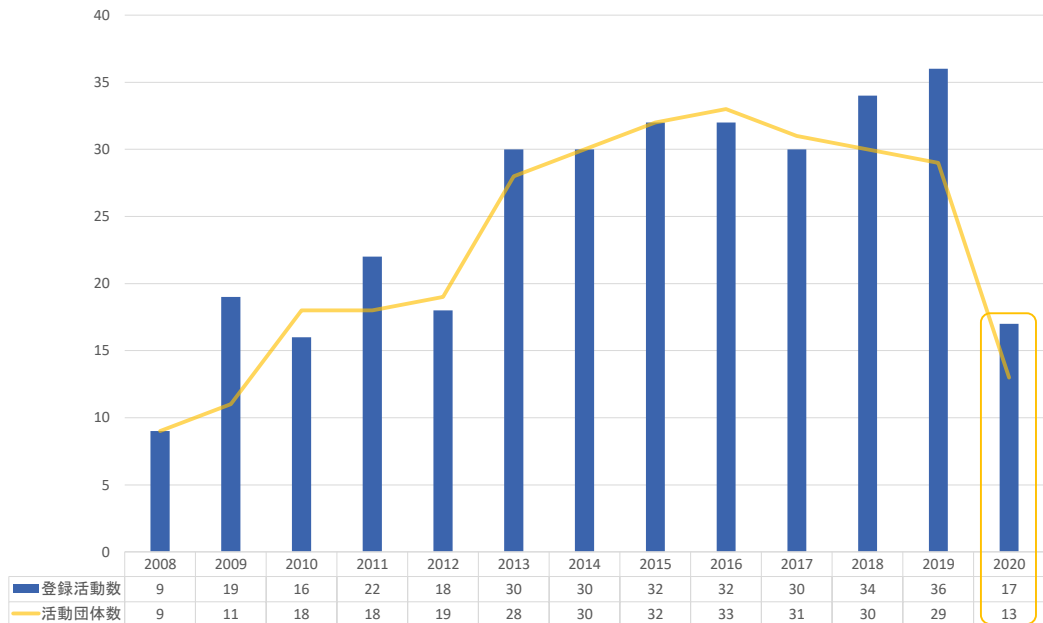


自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み



(2) 令和2年度エコマー・プロジェクトの ふりかえり

サロベツ・エコマー・プロジェクト 今年度の登録数



登録活動数:17件 (前年36件)
活動団体数:13団体 (前年29団体)

NEW



セイヨウオオマルハナバチ監視活動(宗谷総合振興局)



牛飼い母さんたちによる農村生活文化の伝承活動
(農村生活文化伝承活動をすすめる会)

結果

- 今年度は新規登録団体・活動は**1件**あったのみで、コロナ情勢の為、町内でのイベントや活動等の中止・自粛が相次いだ。
- 登録活動は前年比で**19件の減少**、登録団体数は**16件の減少**となった。
- 団体数と登録件数が異なるのは、1団体につき複数の活動登録の事例があるため。

(3) 年間活動計画からみた振り返り

令和2年度 普及部会及びエコモ-☆サポーター行動計画

【自然再生普及活動の目標】 ①サロベツを好きなお人々を増やす。
②サロベツを次の世代に伝える。

【凡例】
サポーター：エコモ-☆サポーター
メンバー・団体：プロジェクト推進・実施者
事務局：エコモ-事務局(推進者・普及員・サブエコモ-)
協議会事務局：上野山協議会事務局(推進者・普及員・サブ協議会事務局・サブエコモ-)

目標を達成するための取組 (実施計画)		
EISの役割	具体的な取組 (個々の実施計画等に、別途、目標、実施方法、効果の判定、次回への反省等をまとめる。)	実施の中心者
(役割1) 上サロベツ自然再生に対する人々の理解を深める	自然再生を伝えるイベントを開催する	実行委員会(主体はワゴーター)
	①エコモ-Dayを開催する	ワゴーター
	②エコモ-イベントを開催する。 (町内に限らず、近隣市町村のイベントでのPRを検討)	ワゴーター
	自然再生を伝えるための情報発信	協議会事務局
	①自然再生HP・「サロベツ自然再生通信」の発行	ワゴーター
(役割2) 自然再生に取り組む人や団体をつなげる	②SNSを通じた活動情報などの発信	メンバー・各団体
	③メンバー・団体からの情報発信	ワゴーター・事務局
	④エコモ-プロジェクト活動紹介の展示(巡回展の実施など)	ワゴーター
	メディア戦略	ワゴーター・事務局
(役割3) エコモ-プロジェクトの推進を図る	①メディアへの働きかけ(新聞各社・地元ラジオなど)	ワゴーター
	エコモ-☆メンバー間士の交流の場をつくる	ワゴーター
	①エコモ-☆活動発表会の開催	ワゴーター・メンバー
	②エコモ-Cafeの運営開催	ワゴーター・事務局
	SNSゆネットの活用	ワゴーター
新たなメンバーの勧誘	①メーリングリスト・FBやHPを活用する。	ワゴーター・事務局
	①メンバーからの問い合わせ	協議会事務局
	他協議会との交流	ワゴーター
	①他協議会との交流と情報の共有(参加者からの報告)	協議会事務局
エコモ-プロジェクトの推進を図る	エコモ-プロジェクトの活動支援	ワゴーター・事務局
	①運営への協力 会場の提供、広報宣伝の協力、人的協力 ②活動サポート情報の提供 助成金事業情報の取りまとめと発信、メンバーの需要の把握/ノウハウなど	ワゴーター・事務局

(3) 年間活動計画からみた振り返り

第3期上サロベツ自然再生普及行動計画の目標

- ①サロベツを好きな人を増やす
- ②サロベツを次の世代に伝える

<エコモー☆サポーターの役割>

- <役割1>
 - ・上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める
- <役割2>
 - ・自然再生に取り組む人や団体を繋げる
- <役割3>
 - ・エコモープロジェクトの推進を図る

<役割1>

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

<具体的取組>

- ① 自然再生を伝えるイベントを開催する
- ② 自然再生を伝えるための情報発信
- ③ メディア戦略

- < ①自然再生を伝えるイベントを開催する >
- エコモープークを開催する
- エコモedayを開催する

結果

- ・エコモープークは管内等の他イベントにおいて、出張PRなどを検討するも、コロナ情勢の為、イベントの中止などが相次ぎ実施できず。
- ・エコモedayは従来の集客型イベントは開催できず、代替えとして、以下の期間にこれまでのエコモedayの実施企画やエコモープロジェクトに登録いただいた団体の紹介をする「エコモeday展示会」を開催。

開催場所 : サロベツ湿原センター

開催日時 : 令和2年11月14日(土)～12月1日(火)

期間来場者 : 254名

＜②自然再生を伝えるための情報発信＞

- 自然再生HP サロベツ再生通信の発行
- SNSを通じた情報発信
- メンバー・団体からの情報発信
- エコモープロジェクト活動紹介の展示

結果

- ・自然再生通信を今年度も継続して発行したほか、新たにエコモープロジェクト登録団体の活動を紹介する為の広報誌(エコモー通信)を2回発行、町内で回覧を行った。
- ・エコモー公式HPやFacebookを通じて、地域で行われる活動や登録団体の情報を発信した。また、関係機関からも随時情報発信を行った。
- 参考【発信回数】サロエコ(エコモー関連の投稿):23回、
- ・活動パネル展は湿原センターでのみ実施、他施設では今年度は実施せず。
- ・過去の報告集と再生通信、エコモー通信をエコモー公式HPでも掲載(2009,2011,2012,2016~2020)



北海道開発局HPより



＜③メディア戦略＞

○メディアへの働きかけ(新聞社・地元ラジオ局など)

結果

- ・サポーターと事務局から、新聞各社へのプレスリリースや地元ラジオ局への情報提供を行った。
- ・コロナ情勢ではあったものの、どんぐリーや豊中出前講座などでは取材があり、新聞でも掲載された。

今後に向けて

- ・報道各社へのプレスリリースの継続。
- ・イベントなどの周知方法の強化。
- ・今年ではできなかったが、テレビ局などにも情報周知すること等も検討
- ・イベントのほか、エコモープロジェクト自体を取材していただけるようにしていきたい。



2020.11.4 北海道新聞



2020.10北海道新聞

<役割2>

自然再生に取り組む団体を繋げる

<具体的取組>

- ① エコモー☆メンバー同士の交流の場を作る
- ② SNSやネットの活用
- ③ 新たなメンバーの勧誘
- ④ 他協議会との交流

<エコモーメンバー同士の交流の場を作る>

○エコモー活動発表会の開催

○エコモーcaféの適宜開催

結果

- ・エコモー活動発表会は、開催予定時期に新型コロナウイルス感染症の罹患者数が全道的に再び増加へと転じた為、従来の集客型の催しは中止した。
- ・エコモーCaféも今年度は開催できなかった。

今後に向けて

- ・エコモー活動発表会は、基本的には従来の対面・集客型での開催を検討も、コロナ情勢が厳しい場合は別途方法を検討
- ・新規で登録していただけた団体への参加依頼を継続して行う。
- ・活動発表会(交流会)はメンバー同士の交流も目的となっている為、実施の場合は、気軽に参加できるような企画を検討する。

自然再生に取り組む人や団体を繋げる

<SNSやネットの活用>

○メーリングリスト、HP、FBを活用する

<新たなメンバーの勧誘>

○メンバーからの誘い

<他協議会との交流>

○他協議会との交流と情報の共有を図る(参加者からの報告)

結果

- ・ エコモー関係者へのMLを用いて、イベント情報や登録メンバーの活動情報などを随時発信した。(計15回)
- ・ 新たなメンバーの勧誘は今年度は実施せず。
- ・ 他協議会との交流は、これまで全国会議への参加報告を再生協議の場で行っていたものの、今年度は実施せず。

今後に向けて

- ・ メンバー勧誘に関して今後は計画表への明記は行わず適宜行っていくものとする。
- ・「SNSやネットの活用」は「役割①」との差別化が困難であるため、統合していく事を検討する。

<役割3>

エコモープロジェクトの推進を図る

<具体的取組>

① エコモープロジェクトの活動支援

<エコモープロジェクトの活動支援>

○運営への協力

○活動サポート情報の提供

結果

- ・今年度は実施活動などの中止などが相次いだため、ほとんど両項目とも実施できず。

今後に向けて

- ・次年度以降開催されるイベント、活動などは引き続き人的協力、広報などの補助を行っていく。
- ・登録団体のお困りごと等を把握したうえで、人員や予算などの具体例があればその都度可能な範囲で協力できるように取り組む



広報・運営補助(8月ポニーばん馬大会)



広報・運営補助
(4月オババワークラブ木道観察会)



会場提供(豊徳地区協議会ポイ捨て防止活動)